富岡まちづくりセンター・所沢図書館富岡分館・特定非営利活動法人みんなのひろば 3者連携事業

富岡地区の「子どもの居場所づくり」を目的としたプロジェクト

学校でも家でもない
子どもたちの居場所があります。

富岡ゴロ寝読書プロジェクト

富岡まちづくりセンター（公民館）の和室で、「和室×本×遊び」を融合させた『新しい形の子どもの居場所」事業がスタートしました！ リラックスした雰囲気の中で子どもたちが「大好きな本」と出合えるような素敵な空間を一緒に作りませんか？

「公園と家の中間に」

広い畳ゴロリ読書

所沢で子どもに居場所を スタート

子供たちが自由なスタイルで本に触れることができるスペース「富岡ゴロ寝読書プロジェクト」が26日、所沢市北岩岡の富岡まちづくりセンターで始まった。広い和室で寝転びながら、読書だけでなく本の読み聞かせや紙芝居なども楽しめる。

市は「読書をきっかけに子供たちの居場所をつくりたい」としている。

プロジェクトは富岡まちづくりセンターと市立所沢図書館富岡分館、子供たちの居場所づくりなどを支援する同市のNPO法人「みんなのひろば」が、目標を設定して取り組む。

富岡地区は同市北部に位置し、畑や住宅地などが広がる。小学校3校と中学校1校がある一方、市民意識調査などでは「子供たちの遊ぶ場所が少ない」といった意見が寄せられてきた。

同センターは一階の三つの部屋に、合わせて54畳の和室を持ち、2階には蔵書約5万冊の富岡分館が入る。粕谷紀夫センター長は「和室と本、遊びを融合させた事業ができるのではないかと考えた」と動機を語る。

子供たちがそれぞれのスタイルで本に触れることができる「富岡ゴロ寝読書プロジェクト」=26日午後、所沢市北岩岡の富岡まちづくりセンター

プロジェクトは2月2日と16日、3月8日と22日にも、それぞれ行われる。開催日時は3カ月ごとに決めていく方針だ。（中嶋基人）

26日に開放された和室には、座布団や脚の低いテーブルが置かれ、富岡分館が所蔵する絵本や図鑑、なぞなぞといった子供向の書籍約100冊が並べられた。宮崎祐美子分館長は「緊張しない空間で気軽に本と親しんでほしい。子供たちからは本のリクエストも募集する。

時間は午後3時から2時間とし、入退室は自由。対象者は富岡地区の小中学生とその保護者として「誰にでもオープンにしたい」（粕谷さん）という。訪れた小学2年の男児（8）は「畳が良い」と話した。

同NPOの原田史子代表理事（35）は「公園と家の中間のような場所にしたい。子供たちが自主的に創造していける場所になるといいと展望する。

〈対象者〉　市内 未就学児・小学生・中学生、その保護者
〈 会 場 〉　富岡まちづくりセンター（公民館） 和室
〈 時 間 〉　午後3時～午後5時（4時50分からお片づけタイム）

〈開催日〉【2月】　2日(金)、16日(金)　【3月】 8日(金)、22日(金)
【4月】12日(金)、26日(金)　【5月】10日(金)、24日(金)
【6月】14日(金)、28日(金)

〈問い合わせ〉

事業に関すること：富岡まちづくりセンター（所沢市北岩岡117番地の1）　☎ 04－2942－3110
図書に関すること：所沢図書館富岡分館（富岡まちづくりセンター2階）　☎ 04－2943－3636

共催：富岡まちづくりセンター・所沢図書館富岡分館・特定非営利活動法人みんなのひろば